

令和3年度 事業報告書（さわら福祉会）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

I 総括

令和3年度は、前年度よりもはるかに新型コロナウイルスが猛威を振るい、第4波から第6波と大きな流行が発生し、施設を利用される方々の安全安心な生活・利用を守るため、様々な制限のある施設運営を強いられました。各施設における感染症対策により、サービスの提供を継続することができ、稼働率の維持・向上に繋げることができました。

マナハウスでは、医療的管理の度合いの高い利用者が多く入居されている中で、新型コロナウイルス陽性者が発生し、感染拡大の予防に向けて大きな負担を強いられました。クラスターが発生することを防ぐことができました。定期的なPCR検査の実施や、透析患者の個別送迎対応、隔離などの対応を柔軟に行い、ワクチン接種などの条件が整っている方については、利用者の状況に応じて直接面会できる機会を設け、ご家族の希望に応えることができました。

また、地域貢献活動として、地域の移動手段となる西鉄グループのオンデマンドバス「壱岐南のるーと」やトヨタグループの超小型EVの地域共用事業のトライアルの拠点として参画しました。

大池けいあい保育園では、子どもたちの自主性を確立する目的としてのアクティブラーニングなどを実施しました。新型コロナウイルスの感染予防対策として、園児の呼吸改善効果のある「あいうべ体操」に取り組みました。また、保護者や地域との関係づくりを着実に進めることで、地域に根付いた園としての認知も進み、入園児も順調に増えました。

愛宕けいあい保育園では、「子どもに寄り添った保育」をしている園として、行政や地域の小児科に認知されるようになってきました。これに合わせて年度当初よりも入園児が徐々に増えました。保護者からの園での日常生活を知りたいというニーズも見られ、保育参観や懇談を実施しながら保護者との関係づくりも進めることができました。

法人全体の事業活動によるサービス活動収益は、6億5,550万円（前年比4,627万円増）。人件費は、4億3,537万円（前年比2,658万円増）。経費は、1億5,489万円（前年比708万円減）となり、事業の収益性を表す経常増減差額は、3,416万円（前年比2,424万円増）、法人の収益性を分析する指標である経常増減差額比率は、5.3%（前年比3.7%増）となりました。

Ⅱ 各事業所の運営状況

法人本部

1. 経営基盤の確立及び施設整備

法人の適正な事業運営のため、各拠点の会計責任者（施設長・園長）が出席する定例会を週一で開催しました。定例会では、施設運営・収支状況に関する情報を共有し、適正な予算執行に努めました。

マナハウスの老朽化対策として、空調設備・中水槽の改修工事、LED照明の交換等を行いました。

2. 人材の確保・育成及び処遇改善

適正人員プロジェクトにより、適正な人員配置を原則とし、業務の効率性及び職員の意識改革を図りながら、派遣職員の活用を控える等、人件費の調整を行いました。

マナハウスについては、介護職員（正職員）の離職が「ゼロ」になったことにより、離職に伴う対応をすることなく、スムーズな施設運営ができました。保育士の新規採用についても学校訪問や職員寮の案内により新卒者を確保することができました。法人全体として5名（介護3名、保育2名）の新卒者を採用しました。

将来の生産年齢人口の減少を見据えた対応として、業務の切り出しを進め、障がい者雇用や地域の元気な高齢者の雇用による裾野の拡大を図りました。

3. 福利厚生の充実

職員互助会については、令和3年度も引き続き新型コロナウイルスの影響により、忘年会・ボウリング大会など人が集まるイベントは中止としましたが、イベントの予算を活用して、各施設での慰労会の実施、永年勤続表彰や会員への宅飲みセットの配付を年2回行いました。

職員の心理的な負担を把握するため、労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを行いました。衛生委員会と協力して職員のメンタルヘルス（精神面における健康）に努めました。

マナハウス

1. 運営実績報告

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、職員2名、利用者1名に陽性者が出ました。また、濃厚接触者や体調不良などにより、PCR検査を多数受けることとなり、病院受診や隔離を含めた感染対策を余儀なくされ、身体的・精神的、経済的な負担を多大に感じる一年となりました。透析患者の送迎については、感染予防の観点から集団送迎を避けなければならないことも多く、様々な機関の求めに応じて柔軟な対応をする必要性に直面しました。稼働については、透析患者や経管栄養の利用者など、医療を必要とする利用者の入院日数が増えたことの影響などもあり、入居全体の目標稼働率95.1%に達することができませんでした。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特別養護老人ホーム	69名	95.7%	95.4%	95.6%
ショートステイ	11名	93.7%	87.8%	86.7%
入居全体	80名	95.4%	94.4%	94.4%

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ入居者数		34名	30名	43名
延べ退居者数		33名	33名	43名
延べ入院日数		655日	1,016日	943日
平均介護度		3.95	4.01	4.01
割合	介護度1	2.3%	3.0%	1.5%
	介護度2	4.3%	3.8%	1.7%
	介護度3	24.6%	17.7%	23.4%
	介護度4	33.5%	40.7%	41.2%
	介護度5	35.3%	34.8%	32.2%

2. 安全衛生管理状況

新型コロナウイルス感染症の予防を徹底するため、定時での消毒及び換気を行いました。県内の感染状況を鑑みながら面会方法を窓越し形式・オンライン形式と柔軟に変えつつ、感染が小康状態になった期間には、ワクチン接種などの条件を付して直接面会の機会も設けました。

陽性者が若干出たものの、迅速な感染対策によりクラスターには至りませんでした。介護の面では安全安心の介護のため、床走行リフト1台と浴室リフト1台を追加導入し活用を始め、利用者のみならず、職員の安全に寄与しました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
転倒・転落・接触	9件	8件	3件
誤薬・誤嚥・異食	0件	0件	0件
打撲・皮膚剥離	0件	0件	0件
食中毒・感染症	0件	0件	0件
その他	0件	0件	0件
合計	9件	8件	3件

3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症の影響により、外部研修はほぼオンラインやEラーニング研修となりましたが、その効果として職員の受講機会を増やすことができました。内部研修についても同様に録画したものを活用することができ、勤務によっては研修に参加できなかった職員についても研修機会を平等に提供することができました。

【主な内部研修】※参加数は、教材・レポート等による自己研修を含む。

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	基本理念・事業計画 法令順守・ハラスメント	45名	10月	身体拘束、虐待、権利擁護	48名
5月	食中毒	45名	11月	感染症（インフルエンザ・ コロナ・ノロ等）	50名
6月	リスクマネジメント	45名	12月	身体拘束、虐待、権利擁護	50名
7月	介護報酬改定について	46名	1月	リスクマネジメント	50名
8月	看取り	45名	2月	接遇	50名
9月	褥瘡	45名	3月	急変時対応、オンコール	50名

4. 行事報告

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外部ボランティアや慰問等による行事を中止せざるを得ませんでした。一方で、施設内で感染対策を行った上で、少人数で開催できる行事を大幅に増やし、利用者の方々の楽しみづくりを積極的に行うことができました。

【主な行事】

	行事名
春	桜花見、デコレーションケーキ作り、お好み焼き、ちらし寿司
夏	そうめん流し、ナイトマナカフェ、スイカ割り、焼きそば、手巻き寿司、 かき氷、パンケーキ、まぜご飯、クリームソーダ
秋	コスモス花見、敬老会、焼き芋、お弁当の日、ちらし寿司、ホットケーキ
冬	クリスマス、豆まき、居酒屋、カラオケ、たこ焼き、焼肉
通年	誕生会、おやつ作り

5. 地域貢献活動

37%を超える高い高齢化率を誇る壱岐南校区における地域の将来の移動手段として、西鉄グループのオンデマンドバス「壱岐南のるーと」の運用継続に関わり、協賛企業の獲得に協力をしています。また、トヨタグループの超小型EVの地域共用事業のトライアルの拠点として参画（令和3年度末にて終了）しました。

地域カフェ「ふら〜とカフェ壱岐南」を感染数が減少した月に再開することができました。小学生や地域に向けた認知症サポーター養成講座やユマニチュード地域講座も実施することができました。

残念ながら子どもの学習支援・食事支援「学viva」、地域包括ケアシステム構築に向けた「地域包括ケア壱岐南モデル準備室」、事業所ネットワーク「西第4・7地域医療福祉ネットワーク」は中止となりました。

大池けいあい保育園

1. 運営実績報告

開園2年目となり、保育方針として掲げているアクティブラーニングが浸透し、見学に来園された方や保育士から、子どもたちが自立してのびのびと過ごしている環境に対して高い評価を得ることができました。入園希望者も増え、2月には入園児の年度目標を達成しています。

保育士不足が懸念される中で、アクティブラーニング推進の運営方針が注目され、職員確保も円滑に進めることができました。

【園児数】

クラス	年齢	定員	4月時点	3月時点	定員充足率
たんぽぽ組	0歳	12名	11名	14名	116.7%
すみれ組	1歳	12名	12名	12名	100.0%
れんげ組	2歳	14名	14名	15名	107.1%
ゆり組	3歳	14名	14名	16名	114.3%
ひまわり組	4歳	14名	14名	15名	107.1%
さくら組	5歳	14名	13名	12名	85.7%
合計		80名	78名	84名	105.0%

2. 行事報告

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながらも、例年通りの行事を開催することができました。運動会では子どもたちの日頃の主体的活動をご家族に見て頂くことができ、大きな評価を得ることができました。

【主な行事】

	行事名
春	ひなまつり、卒園旅行、畑づくり、野菜（とまと等）の苗植え
夏	プール開き、スイカ割り、とまとでケチャップ作り、しぼり染め
秋	運動会、お店ごっこ、いもほり～クッキング、七五三参拝、遠足
冬	クリスマスコンサート、初詣、節分、カブの収穫～クッキング
通年	ぞうきん縫い：裁縫、畑で野菜づくり、お誕生日のお祝い

3. 職員研修

「人権に配慮し子ども一人ひとりの人格を尊重する」という保育理念に沿っての研修を実施しました。また、アクティブラーニングのOJTにも継続的に取り組みました。

【主な施設内研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	一人称ワーク	16名	10月	子どもの人権に配慮する	19名
5月	保育士の願いと個人の尊厳	19名	11月	保育環境づくりの基礎	19名
6月	相手の立場に立つ	19名	12月	望ましい睡眠について	21名
7月	相手の立場に立つ	17名	1月	失敗しても安心する言葉を 保育環境構成について	17名 13名
8月	子どもの権利とは	16名	2月	人的環境：わたし言葉で	16名
9月	子どもの最善の利益	17名	3月	相手をまるごと受け入れる	14名

愛宕けいあい保育園

1. 運営実績報告

「地域にひらかれた保育園」としての存在を知ってもらうため、毎朝夕の大通りにおける登下校児の見守りを行ってきました。園としての様々な活動をアピールすることで、園児数が少ない西区の中で、「子どもに寄り添った保育」を行っている保育園として、行政や小児科から地域の保護者に紹介して戴けるようになってきています。

今後も地域の子育ての拠点となれるよう、地域に働きかけていくとともに、園児の保護者からも安心される保育の拠り所となれるように努力していきます。

【園児数】

クラス	年齢	定員	4月時点	3月時点	定員充足率
たんぼぼ組	0歳	12名	2名	12名	100.0%
すみれ組	1歳	12名	15名	14名	116.7%
れんげ組	2歳	12名	15名	14名	116.7%
ゆり組	3歳	14名	11名	13名	92.9%
ひまわり組	4歳	15名	15名	18名	120.0%
さくら組	5歳	15名	5名	5名	33.3%
合計		80名	63名	76名	95.0%

2. 行事報告

本年度は、今まで好評であった「保育参加」について、コロナの感染状況をみながらやり方を変え、年間を通して一度保育参加をしてもらうこととしました。行事が思うようにできない中、秋に実施した「保育参観と懇談」も好評で、子どもたちの園での生活を知りたいという保護者のニーズを改めて知る機会となりました。

【主な行事】

	行事名
春	入園式
夏	プール開き 懇談会 一年生交流 年長お楽しみ会
秋	秋まつりごっこ 運動会 園外保育（芋ほり）
冬	保育参観 節分 ひなまつり 卒園式 お別れ遠足 観劇会
通年	誕生会 健康診断 歯科検診 避難訓練 身体測定

3. 職員研修

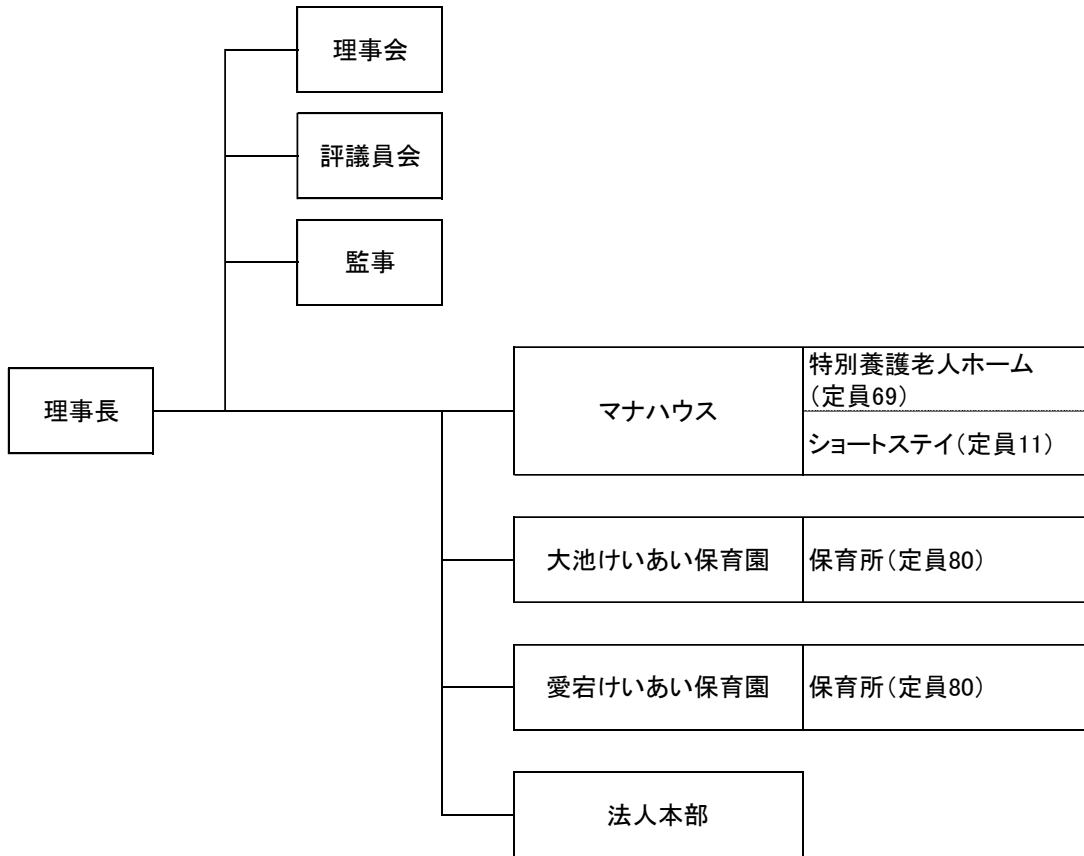
園内研修には今後も重点を置いていきます。園の方針や、子どもにとってどういう保育を行っていくかということについて、職員の学びを共有し、保育観を磨いていながら、職員として目指す子ども像や保育で大切にしたいことを組織間で一致させていくことを目指します。

【主な施設内研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	今年度の保育にむけて	17名	10月	人権研修	18名
5月			11月	感染対策 人権研修	16名
6月	マンダラーシートを用いて	16名	12月	乳児保育	19名
7月	さぼ〜と保育（外部講師）	16名	1月	乳児保育	18名
8月	集団あそびについて	17名	2月	子どもと描画	19名
9月			3月	保護者支援	19名

III 組織図

令和4年3月31日現在



【職員数】

施設名	介護職		看護職		保育士		他の専門職		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
マナハウス	36	4	4	4			8	7	63
大池けいあい保育園					15	2	5	2	24
愛宕けいあい保育園					15	1	5	2	23
法人本部							4		4
合計	36	4	4	4	30	3	22	11	114

事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人さわら福社会
理事長 益田康弘